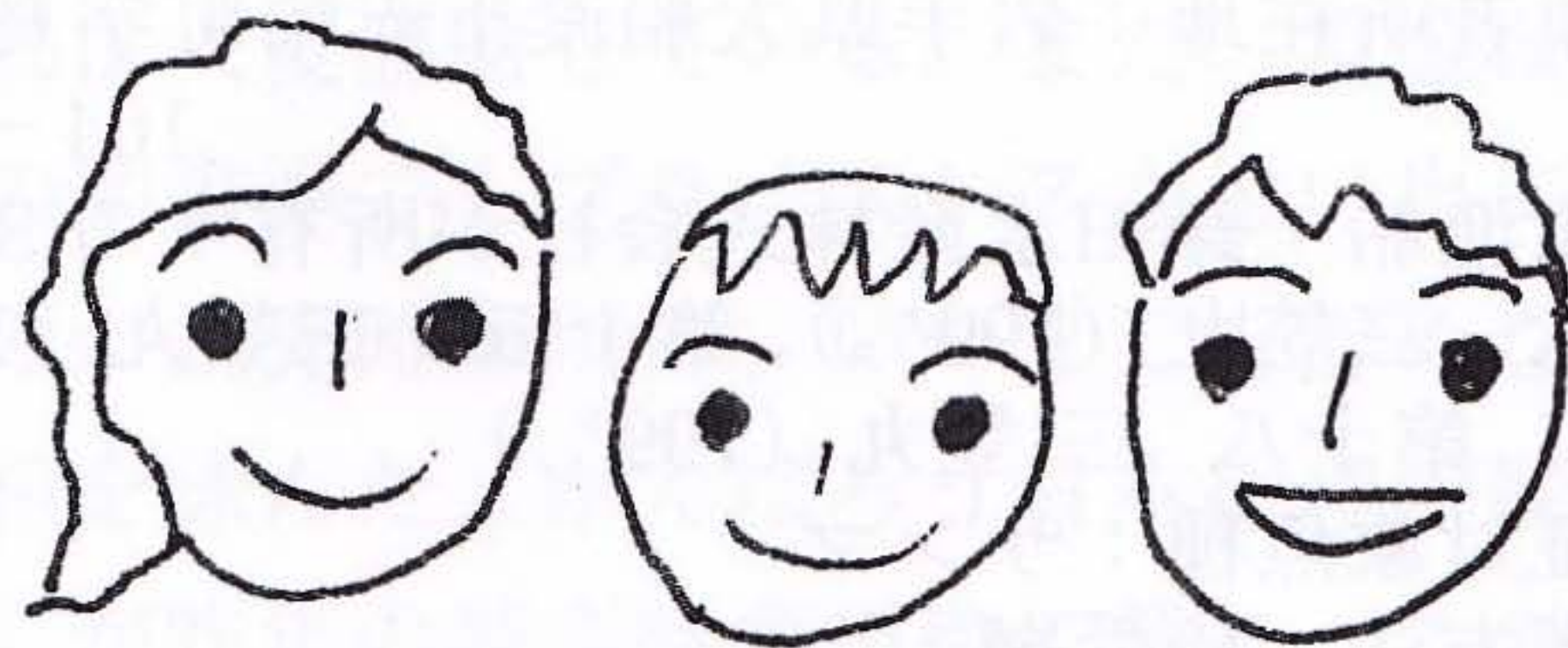


いる。

また別の波及効果として、受け入れ漁家、特に高齢者が元気になっていることである。自然の中での体験が子どもたちを笑顔にし、その笑顔が地域の高齢者を元気にしているようである。



新刊案内

「幸福な田舎のつくりかた」

＝金丸 弘美著、学芸出版社刊＝

著者は食環境ジャーナリスト、全国1,000の農山漁村を訪れ、各地で地域活性化アドバイザーをつとめる。作家、有川浩さんの言葉を借りれば「まちおこしの水先案内人」。

高齢化や経済衰退ばかりが強調される地方だが、そうした状況下でも、地域内外の人と交流を生み出し、地元産物の売上げを伸ばしている事例を著者がルポしている。

「本書に登場するところは、従来のやり方を脱し、いずれも、地域の人々が地域の豊かさを自らの手で見つけ、さまざまな人や資源を

つなぎ、自分たちの価値観を発信し、共感を呼んでいる地域」(著者前文)で、山形県鶴岡市の庄内映画村、高知県四万十町の道の駅など全国9件を取上げた。水産関係では、山口県萩市の道の駅「萩しーまーと」が紹介されている。年間142万人を誘う舞台裏が興味深い。

四六判・208頁、
定価1,890円。

▷問合せ先
学芸出版社

TEL
075 (343) 0811

